

まちなみ・ひとなみ・チョットいいまち

女性のつどい

～おんなのまち当別を考えて～

ふれあい
かかわりあい

当別町教育委員会
☎ 3-2689

3月3日
西当別コミセン

町女性団体連絡協議会が、「当別町女性のつどい」を開催し、約200人が参加しました。

町教育委員の白井應隆おうりゅうさんは、「ちょっとステキなまちづくり」と題し、まちづくりの根底は人づくり、真の思いやり、やさしさが必要と講演。

また、商工会女性部長の石本留美子さんは、「たかがいもだんご汁、されどいもだんご汁」で全国主張発表大会最優秀賞を受賞したことを報告。「自分達の町を元気にするには、自分達で考え行動を起こすこと」と話し「いもだんご汁」を商品化したエピソードを紹介しました。最後に当別音頭を全員で踊り、楽しく交流しました。



1月24日・2月7・8日
西当別コミセン

当別を学び当別を考える「当別学講座」



町教委主催により、まちづくり・ボランティア・健康づくりのさまざまな角度から当別を学び当別について考えようと、道医療

大の教授らを招き講演。

同大歯学部江口教授は、「町民が、当別の過去から未来を共通して知ることが大切。町民としての自分史を今一度見つめ直そう」とまちづくり教育からの当別学を講演。

また、同大歯学部の千葉教授は、当別町2万人歯の健康を推奨し、80歳まで自分の歯を20本残そうと講演。

学生ボランティア「ゆうゆう24」の大原代表は、「ボランティアは自分の判断ではなく相手の求める視点で行うことが大切」と、各講師の身近でわかりやすい説明に受講者は、熱心にメモを取っていました。

1月25日～31日
西当別コミセン

西当小の子ども達が通学合宿

町教委と、実行委員会（立川一美委員長）による、6泊7日のビッグファミリーふれあい合宿in西当別。

4年生から6年生22人が親から離れ西当別コミセンで集団生活を送りながら通学し、炊事、洗濯、掃除、買い物の生活体験や地域の人たちとの交流学習を行いました。

地域の大人や学生ボランティア、ジュニアリーダーも加わり、そば打ち、天体観測、絵本の読み聞かせ、いもだんご汁作りなど、盛りだくさんのプログラムに取り組みました。

子ども達は、「炊事、洗濯などお母さんのありがたみが分かった」などと感想を話していました。



2月28日
総合体育館

遊びの中で体力づくり

管内スポーツ少年団連絡協議会と町スポーツ少年団本部は、管内スポーツ少年団地域交流事業を開催。

当別からは、サッカー、柔道、卓球の各少年団から43人が参加しました。



インストラクターの指導の下、ケンケン鬼ごっこやボールゲームなど、みんな汗だくになるほど、元気いっぱい飛び回っていました。

2月7・8・11日
総合体育館

ドリブルシュートに熱い声援

町教育長杯ミニバスケットボール大会兼札幌地区新人戦大会が開催され、36チーム5年生以下の男女506人の選手が出場。選手達はみな引き締まった表情と小学生とは思えないドリブルやパス回しなど、見事な連携プレーを見せていました。



応援に駆けつけた父母ら約700人の熱い声援と選手の果敢なプレーに会場はあふれんばかりの熱気に包まれていました。当別町チームは残念ながら1回戦で敗退。

優勝 男子 恵庭柏少年団
女子 江別野幌レッドブリックス

町民が自発的に学習活動を企画

・「カラオケ教室」 ・「特別支援教育ってな～に」

実施団体と町教委主催による自主企画講座を開催。小林房恵さんが発起人代表となり、2月18日から4回、世紀会館で「カラオケ教室」を実施。

「にちおん歌謡学院」から講師を招き、詩の解釈や基本的な発声法など59人の参加者が楽しく学習しました。

この講座をきっかけにサークル活動に結びつけたいと意欲を示していました。

また、2月21日、「萌木の会」が西当別コミュニティーセンターで障害のある子ども達にどんな支援や教育が必要なのか、「特別支援教育ってな～に」を企画し、97人の参加者は道立特殊教育センター矢口室長の実例を交えた講演に、耳を傾けていました。



(カラオケ教室)

1月30日
中小屋中学校

料理研究家を招き食を学ぶ



テレビどさんこワイドでおなじみの星澤幸子さんが「食と料理に学ぶこと」と題し、中小屋中の生徒を対象に講話した道德授業。これには中小屋小の児童や地域の人達も参加しました。

「長い間に培われた日本の食事は美しい。おいしいと感じることは体が健康ということ」など、食と健康のつながりや、元気なことの大切さを訴えました。

また、住んでいるところの食物が一番、当別の人は当別のものを食べようと、講師のわかりやすい軽妙な話し方に生徒達は引き込まれていました。

生涯学習推進計画がスタート



平成15年6月に公募委員3人を含む21人で策定委員会が発足しました。以来、延べ18回の会議を積み重ね、2月16日、橋教育長に5カ年を期間とする計画の報告がされました。

サブタイトルを「とうべつ まなびプラン21」と設定し、計画の基本理念を「みんなの学ぶ樹をはぐくむとうべつ」としています。

これは、みんなで生涯学習社会を樹立する、学びの木の根を育むなどの意味があります。

生涯学習を推進するため、学校、地域、家庭が協力し合い「何を指し、何をするのか」を具体的に示した計画となっています。

計画の閲覧は役場、総合体育館、公民館でできます。

学校開設のホームページを 見てみませんか

- 当別小学校 <http://www.infosnow.ne.jp/toubetsu-syo/>
- 蕨岱小学校 <http://www8.ocn.ne.jp/warasho/>
- 西当別中学校 <http://www.infosnow.ne.jp/nishito-chu/>
- 弁華別中学校 <http://www.infosnow.ne.jp/ben-chu/>

